

食品の安全・安心リスクコミュニケーションアンケート(10/31)

①該当するものに○をつけてください。

【性別】

		%	
男性	27	38.6	70 名
女性	42	60.0	
無回答	1	1.4	

【年齢】

		%	
20歳未満	1	1.4	70 名
20歳代	1	1.4	
30歳代	8	11.4	
40歳代	7	10.0	
50歳代	27	38.6	
60歳代	14	20.0	
70歳以上	11	15.7	
無回答	1	1.4	

【住まい】

		%	
県内	64	91.4	70 名
県外	6	8.6	
無回答	0	0	

【職業等(立場)】

		%	
主婦・学生・無職	25	35.7	70
消費者団体	20	28.6	
生産者(農林水産業従事者)	0	0.0	
食品関連事業者・団体	9	12.9	
地方公共団体職員	7	10.0	
食品関連研究・教育機関	0	0.0	
マスコミ	0	0.0	
その他	8	11.4	
無回答	1	1.4	

②本日の意見交換会の開催をどのような方法で知りましたか。(複数選択可)

		%	
ホームページ(長崎県、その他)	2	2.9	70 名
長崎県からの案内資料等	25	35.7	
関係団体からの案内資料等	33	47.1	
知人からの紹介	4	5.7	
新聞・ラジオ(県からのお知らせ)等	2	2.9	
()に設置のチラシ	3	4.3	
その他	4	5.7	
無回答	0	0.0	

③講演について(1つだけ選択)

		%
理解できた	38	54.3
まあまあ理解できた	25	35.7
あまり理解できなかった	2	2.9
理解できなかった	1	1.4
無回答	4	5.7

70 名

④現在、長崎県における食の安全性について、どのように感じますか(1つだけ選択)

		%
安心している	10	14.3
おおむね安心している	45	64.3
時々不安を感じる	8	11.4
不安を感じる	3	4.3
どちらともいえない	1	1.4
無回答	3	4.3

70 名

⑤④で不安に感じる事項や「食品の安全・安心リスクコミュニケーション」で今後取り上げてもらいたいテーマは何ですか。(3つまで選択)

		%
輸入食品	26	37.1
残留農薬	13	18.6
環境からの汚染化学物質(ダイオキシン、鉛、カドミウムなど)	18	25.7
食品添加物	8	11.4
食品表示	18	25.7
食中毒	10	14.3
豚コレラや鳥インフルエンザなどの家畜伝染病	4	5.7
遺伝子組み換え食品	24	34.3
いわゆる健康食品	24	34.3
食物アレルギー	16	22.9
トレーサビリティ(生産履歴制度)	9	12.9
放射性物質	4	5.7
その他	1	1.4
不安に感じていることがない	0	0.0
無回答	2	2.9

70 名

⑥食品の安全・安全に関する情報を主にどこから入手しますか(複数回答可)。

		%
テレビ・ラジオ	30	42.9
新聞・雑誌	34	48.6
インターネット	39	55.7
友人・知人	8	11.4
講演会・研修会	35	50.0
行政が配布する印刷物	19	27.1
その他	3	4.3
無回答	1	1.4

70 名

⑦⑥の情報を入手するうえで、もっとも信頼が高いと思われるのはどこですか。(1つだけ選択)

	%	
テレビ・ラジオ	4	5.7
新聞・雑誌	6	8.6
インターネット	6	8.6
友人・知人	4	5.7
講演会・研修会	23	32.9
行政が配布する印刷物	21	30.0
その他	4	5.7
無回答	2	2.9

70 名

⑧食品の安全性確保のためにはどんな方法が最も効果があると思いますか

	%	
食品事業者の自主衛生管理の充実	10	14.3
行政による指導や規制の強化	12	17.1
食の安全に関係する情報の提供	26	37.1
食品関連事業者や消費者間の相互理解の促進	19	27.1
その他	0	0.0
無回答	3	4.3

70 名

⑨食品の安全・安心に関して、今後、長崎県に取り組んでもらいたいことは何ですか(3つまで選択可)。

生産者への監視・指導	14	20.0
製造・流通販売業者への監視・指導	24	34.3
事業者によるGAPやHACCPなどの自主衛生管理への取組を支援	18	25.7
食品検査体制の充実	13	18.6
県産ブランド食品の普及・啓発や認証制度の充実	10	14.3
食品表示研修会の開催	5	7.1
意見交換会の開催などリスクコミュニケーションの充実	24	34.3
国や他自治体、関係団体との連携強化	11	15.7
食品の安全・安心にかかる情報提供の充実	36	51.4
食の安全・安心につながる食育の推進	23	32.9
その他	1	1.4
無回答	4	5.7

70 名

⑩食品の安全・安心対策として県民に必要なことは何だと思われますか(3つまで選択可)

		%
食の安全・安心に関する情報の収集と正知識の習得	57	81.4
食の安全・安心に積極的に取り組む事業者からの製品購入	27	38.6
正しい知識を持つ消費者による地域への情報伝達	37	52.9
意見交換会、研修会、講習会等への積極的な参加	24	34.3
食品関連事業者との交流、話し合いの場葉の参加	14	20.0
行政、食品関連事業者への提言や意見表明	11	15.7
その他	1	1.4
無回答	2	2.9

70 名

⑪今回の意見交換会について、全体の評価はいかがだったでしょうか。(1つだけ選択)

評価する	34	48.6
おおむね評価する	27	38.6
あまり評価しない	1	1.4
評価しない	1	1.4
無回答	7	10.0

70 名